

センター月だより

〒 507 0034 多治見市豊岡町 55 ヤマカまなびパーク4F TEL 0572- 23 - 3455 FAX 0572- 26 - 8813

指導日誌より

= 瑞浪地区 =

前月に続き雨の中での巡回で、学生の姿は無く、電車の利用客だけであった。(10/1 釜戸 G)

多くの高校生に出会い、あいさつの声かけをするが、応えてくれる人は少なかった。(10/13 土岐 C)

陶中校門にてあいさつ運動を行う。生徒会の役員は元気の良いのですが、登校してくる生徒たちはあまり元気がありませんでした。(10/14 陶 E)

19時半を過ぎていたが、駅前では帰宅途中の高校生を多く見かけた。市民公園にもどると、ナイターでテニスの練習をしている学生たちがまだいた。(10/14 明世 H)

城山大橋を含め町内一円を巡回しましたが、特段異常は認められませんでした。コンビニは珍しく閑散としていました。(10/21 稲津 F)

20時 20分頃、白山神社横の公園に男子高校生 5 人(市内 3人、市外 2人)がいた。「時間も遅い。直ぐに帰るべきだ。」と指導すると、素直に帰っていった。(10/8 日吉 J)

= 多治見地区 =

シダックスや自遊空間に寄り、「何かこまり事はないですか?」と尋ねたら「今のところ、大丈夫です。」とのことでした。(10/13 精華 2)

精華公民館にいた幼児や下校中の高校生たちが元気で気持の良いあいさつを返してくれました。(10/13 南姫 9)

通学路を歩いてみて「あぶない」と思われる様な所はありませんでしたが、車とのすれ違いの時は気をつけるのが一番だと思いました。(10/15 養正 J)

下校する児童に、帰りの声かけを行なった。皆元気にあいさつをしてくれる。天気の良い日で心も晴れやかになった気がした。(10/15 脇之島 12)

根本交流センターを利用している児童に声かけ。夕方 6時をめぐりにお迎えを待っている様子。この時間帯はすっかり暗く、外を歩いている児童、生徒はほとんどいない。(10/21 根本 10)

児童センターには、小中高生がたくさんいた。日没が早くなり、子どもたち特に女の子には注意して早く帰るように促した。(10/24 北栄 1)

◇◇◇ 10月 声かけ活動の結果 ◇◇◇

	多治見地区	瑞浪地区	土岐地区	合計
指導人数	0	3	2	5
声かけ人数	500	137	135	772
指導員参加者	68	30	34	132

イノシシの目撃情報があったので、山道になる通学路も見回った。(10/30 滝呂 8)

= 土岐地区 =

暗くなるのが早まってきたためか、公園などで子どもたちを見かけることが少なかった。(10/1 駄知 5)

三起屋バロー 2階ロビーで話し込んでいる高校生に、外は暗くなっているので気をつけて帰るように声かけする。(10/6 土岐津 1)

中学校の下校時刻に合わせて声かけを行なった。自転車の生徒はヘルメットが着用出来ていた。どの生徒も気持ちの良いあいさつができていた。(10/6 濃南 4)

駅の階段に座っていた 18、19才位の 2人の男子に声をかけると、仕事が終わってただ時間をつぶしているだけ...とのこと。声かけの大切さを学びました。(10/7 泉 8)

駅前の多目的トイレから出てきた 17才の高校生と有職少年の 3人連れが、中でたばこを吸っていた。根気よく声かけが必要。その中の高校生が、「今日は 3日間の介護施設での実習の初日だった。明日も頑張る。おじさんたちも頑張る。」と言っていた。(10/14 特)

平成公園に立ち寄ると、高校生らしき数人がいた。暗くなっているので、早めに帰宅するように話す素直に応じてくれた。(10/22 妻木 3)

平成公園やコンビニなどで高校生たちに出合っ

た。冷たい風が吹いているので、早めに帰宅するように声かけをしました。(10/23 下石 2)

あきらめるな、死んじゃだめだ

ひとこと

いじめられて死にたいと思っている子は、親でも先生でも、誰でもいいから相談してほしい。電話やインターネットにも窓口はある。匿名でもいい。一人で抱え込まないで。

終わらない、いじめなんてない。とにかく絶対にあきらめないでほしい。死んじゃだめだ。

内藤大助さん...11/6 中日新聞より

今月 1 日、名古屋の中学生が地下鉄に飛び込んで自殺しました。ここ最近、子どもたちの悲痛な報道が続いて、やりきれない気持ちになります。プロボクシング元世界王者の内藤さんも中学の時、いじめられて胃潰瘍になり、朝昼晩と胃腸薬を飲んでいました。

いじめられている子は、真面目で責任感が強い子ほど自分に原因があると思い、自分を責めてしまうのでしょうか。「そうではない。環境が変わればいじめはきっと無くなる。」と言ってあげる人が必要です。そのために、大人にはそんな子どもたちの声にならない声を聞きとることが必要です。それが容易でないことは分かっているのですが・・・。

<センターから> 輝け若者!

11 月は「子ども・若者育成支援強調月間」です。各市では啓発活動やいろんな催しが行われています。センターも 11 月 7 日、多治見駅において市内の高校生や指導員のみなさんと一緒に啓発活動を行いました。それに先立つセレモニーには古川多治見市長、多治見警察署の栗本生活安全課長、倉田多治見駅助役をはじめ関係諸団体のご来賓の方々も駆けつけていただきました。

セレモニーは、多治見工業高校の生徒たちが司会進行や若者代表のあいさつを行ない、吹奏楽部の生徒がジャズの力強い音楽で盛り上げてくれました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

秋も深くなり、日暮れが早くなりました。子どもたちへの声かけが少し減っているようです。各班ともそれぞれの事情を抱える中での毎月の活動、ありがとうございます。今一度、少しでも子どもたちに出会えるように、巡回の時間や場所の工夫をお願いします。私たちの活動は、安全パトロールではなく声かけ活動です。